特産品である金属加工製品

新潟県

燕市

**ものづくりを核とした
地域・若者・企業が
つながる
場づくり、人材づくり**

人口 **76,712** 人　面積 **110.94** km²

都市の特長

金属加工業が盛んな工業都市。特に金属洋食器は国内シェアが90%以上を占めており、加工技術の高さは世界的に有名である。市内には、「国上山」や日本さくら名所100選の「大河津分水桜並木」など自然の名所を有している。

燕市
TSUBAME CITY

若者と地域と企業が集い、繋がるプラットフォーム構築事業

燕市は洋食器等の金属加工製品が全国的に有名である。一方、市内のものづくりの現場では、少子高齢化による人材不足や技術者の高齢化による離職が進み、事業継続や技術継承が困難となる状況が見受けられる。そこで、地域・若者・企業がつながる場づくり、人材づくりを行うことで、ものづくり現場等における人材不足解消・生産性向上や若者の地域への愛着の醸成を図る。

01 地域・若者・企業が集う場の造成

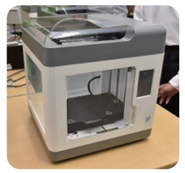
産業史料館を若者・地域・企業といった多様なステークホルダーが集う「場」とするため、敷地内に立地する築123年の米蔵を工房・ミュージアムショップ（チャレンジショップ）といった機能を加えて改修する。
若者の試作、製品の展示を通じ企業と若者が繋がり、事業化する事例は今までも市内で生まれており、そうしたきっかけづくりとして有望なチャレンジショップの設置を産業史料館の集客を図りながら進める。

改修予定の土蔵

02 デジタル機材を活用した教育ともものづくり体験

3Dプリンターやレーザーマーカー、デジタルコンテンツ制作アプリケーションなどのデジタル機材を小中学生が利用しやすい環境を整備することで、デジタル加工技術等を身近に感じてもらい、ものづくりに対するイメージの転換を図る。
現在、市内の中学校では「ものづくり部」がデジタル機材を使って活動し、部員たちは自分で設計し、出力する楽しさを体験している。高機能CADの導入を希望する声もあり、昼休みには気軽に部活動に訪れる生徒たちの姿が見られる。

市内中学校で活用中の3Dプリンター



03 企業による実践的ワークショップの開催

ワークショップで新たなアイデアを生み出す

改修後の土蔵（チャレンジショップ）や、デジタル機材を活用しながら、様々な業種の企業や学生など、多様な人材による新しいアイデアやイノベーションを生み出すためのワークショップを市内企業と連携し、定期的に開催する。
地域資源である人材の育成に積極的な市内企業が、直接こどもたちと触れる機会を設けることで、こどもからの地元企業の認知度向上を図るほか、地域への愛着の醸成に繋げていく。

田んぼに反射する国上山

上空から見た燕市街地

各取組の詳細はこちら　取組 01　燕市 SDGs 情報

インタビュー Interview

（左）株式会社 MGNET 代表　武田 修美 さん
（右）燕市 企画財政部 企画財政課 政策専門員　相馬 建 さん

01 活躍の場を前向きに選択できる環境に

燕市 企画財政部 企画財政課　相馬 建 さん

ワークショップで製品を作るだけでなく、チャレンジショップなどで製品を販売するところまでを企業と連携して取り組むことで、より実践的な学びに繋がります。これは、企業数が多い特長を活かした当市ならではの若者の育成です。
株式会社MGNETさんと連携し、ノウハウやネットワークを活用しながら小学生向けのワークショップを開催しましたが、こどもたちの目が輝くようなワークショップとなりました。
当市で育ったこどもたち、若者が市内外に関わらず活躍の場を前向きに選択できる環境にしてきたいです。

02 こども中心のソーシャルデザインを

株式会社 MGNET 代表　武田 修美 さん

弊社は、製品開発や店舗運営などの事業活動をしつつ、ものづくり、ことづくり、まちづくりに関わる支援事業を、民間事業所、行政、学校向けに展開しています。ワークショップはより着地的で理解しやすいように工夫しましたが、燕市のアドバイスにより、こどもたちが理解しやすくなったことから、協働の大切さを改めて実感しました。
これからもこども中心のソーシャルデザインをモットーに、多方面の業界と協力しあい、多様性に満ち溢れる価値創造を図っていきたいです。

全国的に有名な金属加工産業

今後の展望

市内企業や市内金融機関をはじめとする多様なステークホルダーが相互連携しながら技術革新やブランドイメージの向上を図るとともに、産業史料館や産業観光を地域資源のひとつとして磨き上げることで、経済効果を上げながら市内企業の生産性及び付加価値の向上や観光客入込数の増加に取り組んでいく。

そのほかの取り組み

インターンシップ受入推進

職場体験だけでなく、実際に企業の課題の解決を図るなどの多様なプログラムやインターン生用の宿泊施設がある。

100年フード認定 "燕背脂ラーメン"

夜遅くまで働いていた工場への出前のために冷めない背脂、伸びない太麺が特徴の約90年続くソウルフード。市内約50店舗で展開されている。

子ども応援おひさまプロジェクト

市有施設や民間企業の屋根を発電事業者に貸し出し、事業で得られる賃料収入で図書などを購入し、こどもたちの育成を応援している。